

これまでの検討経過

| 日本海沿岸自動車道との関係 | 年度 | これまでの検討内容 |
|--|---------|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 一般国道 7 号 遊佐象潟道路（遊佐～象潟）が事業化し、平成 35 年の供用を目標 | 平成 25 年 | — |
| — | 平成 26 年 | <ul style="list-style-type: none"> 民間と共同して有識者の基調講演等も含めた「遊佐 PAT 構想勉強会」を計 4 回開催 |
| — | 平成 27 年 | <ul style="list-style-type: none"> 様々な立場の方からの意見を反映させるため、「遊佐 PAT 計画検討委員会」と補助機関である「ワーキンググループ」を設置し、「遊佐 PAT 基本計画」を検討 PAT の整備の方向性を明確にするとともに、事業化に向けた課題事項のとりまとめ、設計施工の指針とするための「遊佐 PAT 基本計画（平成 28 年 3 月）」を策定 |
| <ul style="list-style-type: none"> 検討当初、国交省の簡易 PA と直結（日沿道との一体型）を想定 | 平成 28 年 | <ul style="list-style-type: none"> 「平成 28 年度遊佐 PAT 創生拠点整備事業検討業務」を発注 本事業の整備計画の検討及び道の駅としての登録に向けた資料作成 |
| — | 平成 29 年 | <ul style="list-style-type: none"> 「平成 29 年度遊佐 PAT 創生拠点整備事業検討業務」を発注 事業者シーズの把握及び本事業の施設配置計画の検討 |
| <ul style="list-style-type: none"> 日沿道への直結が白紙 日沿道の整備に左右されずに、移転可能なように、産業や観光等について議論すべきとの意見 | 平成 30 年 | <ul style="list-style-type: none"> 「平成 30 年度遊佐町 PAT 創生拠点整備事業検討業務」を発注 道の駅の整備手法について、国・県との協議が活発化 将来、日沿道に直結できるようになった場合に備え、将来構想において手戻りのない施設配置計画を検討 「儲かる道の駅勉強会」の開催 |
| <ul style="list-style-type: none"> R2 年度(仮)遊佐比子 IC までの供用を発表 R8 年度全線供用を発表 | 平成 31 年 | <ul style="list-style-type: none"> 「平成 31 年度遊佐町 PAT 創生拠点整備事業検討業務」を発注 パース図面、整備計画の検討 「儲かる道の駅勉強会」の開催 |
| <ul style="list-style-type: none"> R2.12.13 遊佐比子 IC まで開通 | 令和 2 年 | <ul style="list-style-type: none"> 「令和 2 年度遊佐町 PAT 創生拠点整備事業検討業務」を発注 「遊佐鳥海 IC 道路・交差点予備設計および測量調査委託業務」を発注 遊佐パーキングエリアタウン計画スタートアップフォーラム「道路がきた！！やるぞ遊佐町！！」の開催 |